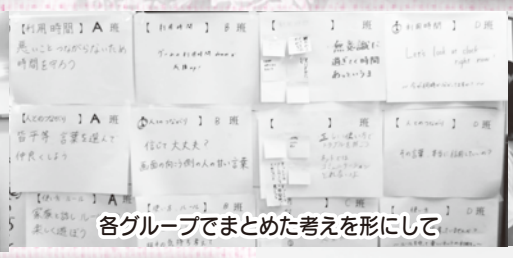
第2回 とっとり子どもサミット inくらよし

8.5土

子どもたち主体の取組が県内全体に広がることを目的に「子どもの子どもによる子どものための　とっとり子どもサミット」の第２回目が中部で開催されました。

みんなの意見を出しあって



各グループでまとめた考えを形にして

真剣な顔で話し合い

全体会での発表

次回は12月2日!!

その日、自分たちで考えたことを自分たちでまとめ、同日開催予定の「とっとり電子メディアとのつきあい方フォーラム」にてみんなの前で発表します！見学など、お気軽にお越しください！お待ちしています。

子どもの感想

- 親と子の間でルールの存在の認識に差があることを知らなかった
- いろんな人の話が聞けたことで、考え方などを見直せた
- あまり考えたことがなかったので、いろんな人の意見を聞いて考えることができた
- 答えが一つじゃないから、みんなの意見を一つにするのが難しかった

スケジュール

	日程	場所	内容（例）
①話合い	H29年6月10日(土) 13：40～16：00	国府町コミュニティセンター（鳥取市国府町庁 380） 済	・アイスブレイク ・スマートフォン・ネットの良い点、悪い点について話し合う
②話合い	H29年8月5日(土) 14：00～16：30	倉吉体育文化会館（倉吉市山根 529-2） 済	・県で実施したアンケート結果や前回ワークショップの結果から、今後の取り組みを考える
③話合い	H29年12月2日(土) 午前(2～3時間程度)	米子市文化ホール（米子市末広町 293）	・午後からのフォーラムでの発表準備
発表	H29年12月2日(土) 午後(3時間程度)		・フォーラムで発表

県PTA広報 とっとり
平成29年11月30日
78号

CONTENTS

このロゴマークは八橋小PTAの中本優紀さんのデザインによるものです

【P1】
・とっとり子どもサミット inくらよし

【P2・P3】
・H29年度教育懇談会
・こんにちは、事務局です!!
・日本ＰＴＡ全国協議会 会長賞受賞「大山町立中山小学校」

【P4】
・日本ＰＴＡ全国研究大会 仙台大会
・編集後記

編集・発行
鳥取県PTA協議会

事務局
〒680-0846　鳥取市扇町21
県民ふれあい会館内
TEL：0857-21-2285
FAX: 0857-21-0906
E-mail:tori-pta@gamma.ocn.ne.jp
http://www.tottori-pta.net/

サミットで県内の子どもたちが考えた標語です。“信じて大丈夫？画面の向こう側の人の甘い言葉”

平成29年11月30日発行 県 PTA 広報 とっとり (2)

平成29年度 鳥取県PTA協議会 教育懇談会

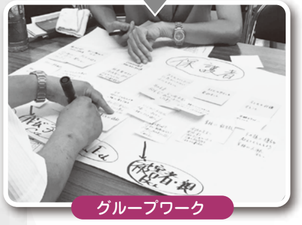
平成29年8月5日(土)
倉吉体育文化会館

グループ討議1

あなたの子どもがいじめられています。さあどうしますか？

子どもは「いじめる側」になることも「いじめられる側」になることもあります。いじめの問題は決して他人事ではなく、いつ身近で起こっても不思議ではありません。普段から子どもとしっかり向き合い、子どものちょっとした様子の変化などを見逃さないことが大切だと思われます。今回はいじめ事象があった場合、加害者の保護者としてどういう対処方法があるか、また予防方法について学びあいました。

個人ワーク


グループワーク

発表

「留守宅ウォーク(各班のワークシート見学)」

参加者の声

- いじめ問題の仮想体験を子どもたちにさせたいです。
- いじめをしない子どもに育てる親の責任の法律があるとは知りませんでした。
- いじめ加害者の保護者の視点を今まであまり意識していなかったので、今回、自分自身を振り返ることができ良かったです。
- いじめについて、親としての覚悟が必要であると再認識できました。

問題の解決はケースバイケースで「正解」は１つではないと感じました。学校の対応が充分でない事例が全国で多発しています。自分の子どもの通う学校、保護者間で、このようなテーマの討議が必要だと感じました。

全体会

グループ討議の後、各グループの代表及び子どもサミット参加者が報告を行いました。

参加者の声

- 他のグループ討議などの報告が聞けて今後に役立てていきたいと思いました。
- 子どもたちの素直な意見が聞けて“よく考えているなぁ”と感じました。
- 子どもサミットに取り組んだ子どもたちの力強い発表に勇気づけられました。

グループ討議2

将来地域の担い手になる大人に育てるために大切なこと

体験・大人・地域の力

“地域の子どもは地域で育てる”という認識で、学校・家庭・地域が互いに連携・協力し、地域の未来を担う子どもたちの成長を地域全体で見守り、支えていくこと、そして巣立って行った若者たちが「志を果たしに」再び地域に還り、ふるさとから自己表現や地域貢献を果たせる地域作りが大切です。

自分たちが子どもの頃の体験を思い出してみよう！

昔に比べ、今の子どもたちの体験は？

《出来ていることは？》
- PC、スマホ、ゲーム機等を使っての遊び
- 勉強や習い事
- 子ども会活動
- 職場体験

《出来ていないことは？》
- 農作業の手伝い
- 川、山、海等での遊び
- 自転車での移動
- 友達の家に外泊

《こんな体験させてみたい。できたらいいな！》
- 豊かな自然とふれあえる体験、遊び
- 子どもたちだけで旅に出る
- スポーツを通じた他地区との交流
- 親子で地域行事に参加
- 地域の祭やイベントに参画

参加者の声

- “子どもの力を信じる”という言葉が印象的でした。
- “地域の担い手になる”というのは、どういうことなのかについても考えてみる事が必要だと思いました。

保護者として出来そうなこと！しなくちゃいけないこと！

① **保護者の力**
- 親が率先して地域行事に参加する
- 親の都合で子どもに制限をかけない
- 子どもを信じ、経験を促す
- 保護者同士のつながりを強くもつ

② **地域の力**
- 異年齢の子どもたちが集える体験事業（キャンプ、外遊び等）
- 公民館を起点とした事業や遊び場の提供

③ **教育行政**
- 地域の色を取り入れた学習の充実
- 保護者が学べる機会の提供

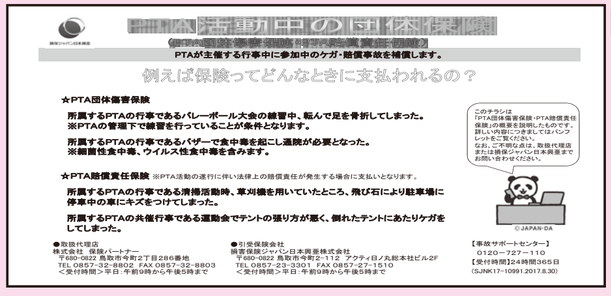
教育懇談会プログラム

Ⅰ 小グループ討議 14：00～16：00 ■各グループに分かれ自己紹介、県教育委員会からの情報提供、意見交換を行う

- グループ討議① いじめ問題「あなたの子どもがいじめています。さあどうしますか？」 人権プログラム ファシリテーター：人権教育推進委員
- グループ討議② 将来地域の担い手になる大人に育てるために大切なこと ～体験・保護者の力・地域の力～
- 子どもサミット 第２回とっとり子どもサミット ～インターネット編～

Ⅱ 全体懇談会 16：10～17：20

1. あいさつ 県 PTA 協議会 大呂会長　県教育委員会 山本教育長
2. 報告 グループ討議・子どもサミットの報告


PTA活動中の団体傷害保険
PTAが主催する行事中に参加中のケガ・賠償事故を補償します。
例えば保険ってどんなときに支払われるの？
★PTA団体傷害保険
所属するPTAの行事であるバレーボール大会の練習中、転んで足を骨折してしまった。
※PTAの管理下で練習を行っていることが条件となります。
所属するPTAの行事であるバザーで食中毒を起こし通院が必要となった。
※細菌性食中毒、ウイルス性食中毒を含みます。
★PTA賠償責任保険 ※PTA活動の運行に伴い法律上の賠償責任が発生する場合に支払いとなります。
所属するPTAの行事である清掃活動時、草刈機を用いていたところ、飛び石により駐車場に停車中の車にキズをつけてしまった。
所属するPTAの共催行事である運動会でテントの張り方が悪く、倒れたテントにあたりケガをしてしまった。
このチラシは「PTA団体傷害保険・PTA賠償責任保険」の概要を説明したものです。詳しい内容につきましてはパンフレットをご覧ください。なお、ご不明な点は、取扱代理店または損保ジャパン日本興亜までお問い合わせください。
©JAPAN-DA
●取扱代理店 株式会社 保険パートナー 〒680-0822 鳥取市今町2丁目286番地 TEL 0857-32-8802 FAX 0857-32-8803 ＜受付時間＞平日・午前9時から午後5時まで
●引受保険会社 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 〒680-0822 鳥取市今町2-112 アクティ日ノ丸総本社ビル2F TEL 0857-23-3301 FAX 0857-27-1510 ＜受付時間＞平日・午前9時から午後5時まで
【事故サポートセンター】 0120－727－110 【受付時間】24時間365日 (SJNK17-10991.2017.8.30)

鳥取県 PTA 協議会　小・中学生総合保障制度（こども総合保険）

2017年10月現在の内容です

★お子さまがケガ!?
ケガは 24 時間補償
（熱中症・細菌性食中毒も補償）

★学校へ携行する持ち物への備え
学校管理下動産補償
（身の回り品補償）※Dプランを除く

★お子さまが加害者に!?
個人賠償責任補償
※総合保障制度なら、登下校中だけでなく日常生活の自転車事故による第三者賠償も補償します。

団体契約なので掛金が
約 42%割安!!

総合保障制度の詳細に関しましては、パンフレットをご覧になるか引受保険会社にお問合せください。

【引受保険会社】AIU 損害保険株式会社 （2018年1月1日以降）AIG 損害保険株式会社
松江支店 松江市伊勢宮町 519-1 大同生命ビル 6F
TEL.0852-26-2781 FAX.0852-26-2776（受付時間:平前 9:00～午後 5:00 土・日・祝日・年末年始を除く）

AIU損害保険と富士火災海上保険は、関係当局の認可等を前提として、2018 年 1 月 1 日に合併による経営統合を行い、「AIG損害保険」になります。 A-000788 有効期限 2018 年 10 月

おめでとうございます

第39回
日本PTA全国協議会
会長賞受賞

受賞 大山町立中山小学校
「みどりの広場」

こんにちは、事務局です!!

こんにちは、事務局員の石橋です。事務局では PTA の活動を支えるため、以下の業務を行っています。

- 各郡市 PTA 連合会事務局との連絡調整等
- 県教育委員会主管課（小中学校課）との連絡調整
- 各専門委員会との連絡調整
- PTA 保険の取りまとめと代理店との連絡調整
- 日本 PTA 全国協議会、中国ブロック PTA 協議会との連携
- 三役会・理事会の運営補助
- ホームページ更新
- 会計管理、書類作成等

事務局員 石橋 美紀　事務局長 長尾 志保

こんにちは。本年度から事務局長を引継ぎました長尾志保です。各学校 PTA や各郡市 PTA 連合会の活動を支援する下支えとなれるような県 P の事務局でありたいと思っています。モットーは元気で明るい PTA 事務局。お気軽に事務局へお寄りください !!

事 務 局：県民ふれあい会館内
（鳥取市扇町 21 番地）

第65回 日本ＰＴＡ全国研究大会 仙台大会

分科会：8月25日(金)
全体会：8月26日(土)

～つながろうPTA！　子どもたちの輝く未来のために～

～杜の都発！みちのくの今を伝えたい　感謝の思いと確かな歩みとともに～

8月25・26日の2日間にわたり、全国から7,300人が集い、宮城県仙台市において第65回日本ＰＴＡ全国研究大会が開催されました。1日目は仙台市内各会場にて10の分科会が行われ、2日目は全体会が行われました。

全体会 記念講演

第2分科会

「“子ども時代の熱中体験の有無”が、何かを極めようとする時の大きな力になる。始めるのに遅いということはない。脳発達と加齢予防は表裏一体。我々、親もこれから始めることができる。」この言葉に会場も安堵のため息がもれました。

分科会 パネルディスカッション

第1分科会

全体を通して、「サードコミュニティ(プレイス)」というワードが印象的でした。家庭と職場以外の場所として、保護者も仲間づくりという視点でPTAに参加すれば、サードコミュニティとしての組織作りが可能ではないかと感じました。

第4分科会

思いを伝える手段としての広報紙の在り方を模索し、読み手に思いが伝わる広報紙について考えました。前年の広報紙と少しでも変える勇気をもつこと、プロの知恵を借りることなどのアドバイスを受けました。

歓迎アトラクション

第3分科会

「子どもも社会の一員である」という視点から、自立していくために必要な力を、我々大人と一緒に養っていくことが大切であり、“気にしている(無関心ではない)”という姿勢を伝え続けることが大切であるということでした。

次期開催地ＰＲ

第7分科会

「震災後を生きる」ことを改めて考えました。一人ひとりの力は微力だけど、無力ではない。できることからひとつずつ、今こそ、東北に学び、先手を打つ時だと思いました。

伊達正宗

第8分科会

子どもの「こ食」の解決策は、家庭や親だけでなく地域全体で食育に取り組むことが必要であり、そして地産地消や郷土料理を伝承していくことも親や地域の大切な役割であることなどを学びました。

編集後記

＊県Ｐの仲間に入れてもらって楽しい時間が増えました。こんなにたくさんの保護者の輪がつながるって素敵だなと思いました。(い)
＊仕事が忙しすぎて‥‥(う)
＊月日はアッと言う間に過ぎて行き、もう年末ですって‥‥一年は早いなぁ。年賀状準備しなきゃ‥‥(み)
＊先日、地区の運動会に参加し、次の日から筋肉痛に悩まされ‥‥運動不足!?でも、早く筋肉痛になったことがちょっとうれしくもあり。(え)
＊ついに小学生の娘と靴のサイズが一緒になりました。身長はあと3センチ‥‥。来年には見下ろされてしまうかな。嬉しいような、悔しいような。(り)
＊やっと終わった運動会シーズン。保育園から中学校、地区の運動会にバタバタ‥　来年からは高校も入るんだなぁ。母、体力作り頑張ります！今しか楽しめないこの時間大切にしたいです。(め)

	分科会	領　域	研　究　課　題
分科会内容	第1分科会	組織運営	多くの仲間と活動できるＰＴＡ活動を求めて　全ては子どもたちのため　みんなで一緒に活動しよう
	第2分科会	家庭教育	子どもの個性を伸ばす家庭環境を求めて　やる気を育む言葉のチカラ
	第3分科会	学校教育	協働による学校教育活動の在り方を求めて　家庭と学校と地域をつなぐ「子」ミュニケーション
	第4分科会	広報活動	保護者や地域への更なる発信力を求めて　ＰＴＡ活動の魅力を伝えよう
	第5分科会	地域連携	地域と共にあるＰＴＡ活動の在り方を求めて　震災と経験を活かして取り組む地域防災
	第6分科会	人権教育	互いを認め、尊重し合える心の教育を求めて　インターネットの普及によって多様化するコミュニケーションの中で思いやる心を育むには
	第7分科会	環境教育	子どもたちが健やかに育つ環境の在り方を求めて　行動することで繋がる子どもたちの未来
	第8分科会	健康安全	子どもたちの健康な心と身体を育む食を求めて　「こ食」と地域の食育
	特別第1分科会	日本ＰＴＡ全国協議会担当	「いじめ」何が起きているかを知る
	特別第2分科会	文部科学省協力	支援される側から支援する側へ　さらに一歩踏み出した子どもたち　子どもたちの支援活動を支えるためにＰＴＡとしてできることを考えよう
全体会		記念講演「オリンピックへの挑戦～家族の絆で掴んだ父娘メダル～　女子ウエイトリフティング三宅親子	